

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 郡山市立片平中学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・Ⅴ（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生57名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( )</p> <p>② 行事名 ( 教育講演会 )</p> <p>③ その他 ( パラリンピック聖火リレートーチ展示 )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目 標 (ねらい)	<p>○パラリンピック選手の講話や聖火リレートーチの展示を通して、パラリンピックに対する興味関心を高め、スポーツを楽しむ心を育む。</p> <p>○スポーツを通して、自己実現を図るために大切なことを理解することができる。</p>
5 取組内容	<p>○佐々木真菜氏の講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：令和3年12月3日（金）13：30～14：40</li> <li>・テーマ：「あきらめない心 ～夢に向かって～」</li> <li>・対 象：全校生、教職員、保護者</li> <li>・内 容：東京2020パラリンピック陸上競技女子400m（視覚障がいT13）に出場し、7位入賞を果たした佐々木真菜氏をお招きし、全校生、教職員、保護者を対象にご講演をいただいた。障がいの多様性や共生社会について話していただき、「できないことに目を向けるのではなく、どうしたらできるかを考えてほしい。」というメッセージに、何事にもあきらめず、夢に向かって挑戦し続けることの大切さを学ぶことができた。</li> </ul>



	<p>○パラリンピック聖火リレートーチの展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日：令和3年6月17日（木）、18日（金）</li> <li>・内 容：県オリンピック・パラリンピック推進室より貸出を受け、昇降口に展示した。両日をフリー参観日とし、保護者にも見ていただいた。トーチに刻まれた点字の意味を知り、実際に手に取ってクラスごとに体育館でリレーを行ったことで、オリンピック・パラリンピックに参加している実感をもつことができた。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
6主な成果	<p>○講演会を通して、パラリンピックの障がいの種別、障がいの多様性などを知り、パラリンピックへの興味関心が高まった。</p> <p>○講演会後の感想には、「障がいについて理解を深め、個人を尊重していける社会」「諦めなければ結果はついてくること」「夢に向かってひたむきに努力する大切さ」を感じ取る生徒が多かった。また、保護者からは、「自分にできることを考え、チャレンジしていくことの大切さ」「何事もプラス思考でがんばれば夢に近づける」などの感想が多かった。</p> <p>○本物のパラリンピックトーチに触れ、刻まれていた点字（勇気、強い意志、公平、インスピレーション）を知ることで、パラリンピックのもつ価値について理解を深められた。</p>
7実践において工夫した点（事業の特色）	<p>○福島県出身のパラリンピック現役選手に講師として来ていただくことで、パラリンピックへの興味関心を高めるようにした。</p> <p>○教育講演会については、学校だよりやホームページ、新聞報道等で地域や保護者の方にも知っていただけるようにした。</p>
8主な課題等	<p>○講師の選定にあたっては、市教育委員会との連携が必要である。</p> <p>○オリンピック・パラリンピックが終わった後の教育が大切である。特に、各教科・領域との関連や多様性の社会、インクルーシブ教育、共生社会について、より理解を深めていく必要がある。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>○2022年は、北京冬季オリンピック・パラリンピックが開催されるので、冬の競技に関する情報を提示していきたい。</p> <p>○コロナ禍ではあるが、体験型のオリンピック・パラリンピック教育やオンラインを活用した教育を展開していきたい。</p>